

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2011-10-20

APM news 047

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

「メッセージイラストレーションポスター展3」

親睦会の開催 10月1日(土) pm5:00~7:00/参加者:44名



APMでは展覧会の初日に、会員との交流を図る懇親会が開催されている。中でも10月に開催される懇親会は、出品者である多摩美術大学の大学院生たちと作品について語り合うことのできるめったにない機会である。美術館大学終了後、スタッフだけでなく高田建築事務所の社員や多摩美術大学の学生、サポーターズ倶楽部会員といった懇親会常連の参加者たちの協力で、あっという間に準備が整っていく。テーブルが設置され、クロスがかけられ、寿司(大漁寿司)、刺身・オードブル(志満屋)がテーブルに並んでいく。会場の一角には大きな容器に氷とともに飲み物が入れられ、最後まで冷たく飲めるようになっている。APMの懇親会では日本酒の需要が高く、今回は「越の寒中梅」「長者盛」(新潟銘醸)の2種類の日本酒とビールやソフトドリンクが用意された。一方でAPMの裏には移動するカレー屋「Dadjo Dilo」のバスが到着し、準備が始まる。飲み物が各自のコップに注がれると、「メッセージイラストレーションポスター展委員会」委員長の大石晃裕氏のあいさつに続き、秋山館長の乾杯のあいさつで懇親会が始まった。秋山館長と話す人、美術館大学講師の木村保夫氏と語る人、作者の大学院生に作品についてたずねる人、料理に夢中な人、各自がそれぞれの場所で談笑し、楽しむ。メキシコ展でも演奏していただいた畠山徳雄氏が、今回も生演奏をしてくださった。カレーのいい匂いが会場に立ち込めると、舞台は展示室から裏口へ。裏口には高田建築事務所作成の入れ子式ベンチが用意されており、そこで腰掛けながら美術論に花を咲かせ、料理を堪能する。終わりの時間が近づくと、恒例の写真撮影が行われる。今回も撮影は吉澤義孝氏が担当してくださった。全員が笑顔のいい写真となった。これからもこの小さな美術館が会員を、作家を、美を愛する人を繋ぐ場となることを願う。(森山奈帆・APM職員) APM公式ホームページより抜粋



懇親会風景